

夢を追う卒業生 その23 平成30年12月7日

夢に向かって新しいことを始める勇気

◇今回は、高橋優希さん（和歌山大学観光学部）のレポートです！

こんにちは。和歌山大学観光学部1回生高橋優希です。私の通う観光学部では様々な視点から観光を捉え、日々の講義が行われています。例えば、インバウンドについてや食農についての観光らしい講義から、昭和の歌謡曲から流行というものを考えるという授業や、博物館、美術館などのミュージアムについて学ぶ授業など一風変わった授業もあります。

また、学生も北海道から沖縄まで全国から来ており、面白い経験や展望を持つ学生も多いため、いろんな意見を聞くことができ、とてもを刺激を受けています。観光学部ゆえに旅行好きな学生が多く、長期休暇にはみんなで計画を立てて旅行に行ったりもします。

学部としての活動

LIP (Local Internship Program) という名前で、地域の観光課題の解決をはかるプログラムがあり、その一環として、紀の川市での活動に参加しています。このLIPは、紀の川市の市民市外流出を問題とし、「フルーツを使ったスイーツでママさん世代が集まれるカフェ作りによって市の雰囲気をも明るくする」を目的にマーケティングを学び、実際に食べログの評価などを統計にかけたり、近郊の大阪・京都・神戸に事例調査に行ったり、市役所への意識調査アンケートを行ったりして売れるスイーツの作りを行っています。今は調べたデータを元にコラボ先のカフェと実際のスイーツの案を出しあっているところです。

他にも岩手県と連携し、農業のワーキングホリディを行うLIPや、Instagramを使い大学生目線で市の魅力を発見・発信するLIPなどがあります。

LIPを通して、身近な観光問題を考えるきっかけになっています。メンバーや先生との仲が深まり、刺激を受けながら楽しくやっています。また、大変ですが、新しいことや自分だけではできなかったことが出来るのが楽しいです。



大阪での事例調査

短期留学

夏休みに大学の GIP (Global Intensive Project) という 1 か月の短期留学プログラムを利用してフィリピンに行きました。フィリピンでは、寮から語学学校へ通い、平日は英語を学び、休日はアクティビティを楽しみました。

カナダ・イギリス・オーストラリアでの GIP もありましたが、今後、発展が進んでいくであろうアジア地域に行くことで、日本ではあまり感じない生命力というか活気というか熱気というようなものを感じたい、せっかく行くなら語学力を向上させたいと思い、フィリピンに決めました。1 か月滞在することによって、現地の人々と触れる機会が多く、異文化を肌で感じました。フィリピンの観光資源を満喫するだけでなく、英語で英語を学べたことや、NGO ボランティアに参加し、フィリピンの貧しさとそれでも前向きに夢を持って生活する人々の力強さを感じることができたため、とてもいい経験になったと思います。



サークル

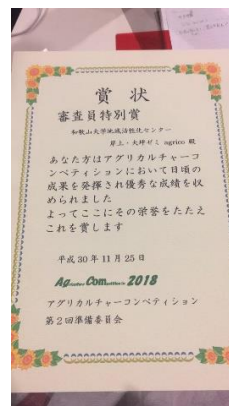
PATA (Pacific Asia Travel Association) の日本和歌山学生支部に所属しています。活動内容は、観光事情を勉強会等で学ぶことや、実際に自分たちで考えたプランで観光地へ旅行に行き、フィールドワークを行うこと、海外の大学生や他大学の学生との交流会、観光についてのコンペティションへの参加などです。5月には Annual summit が開かれ、海外の支部との交流もあるそうです。活動を通じて多角的に観光を捉えた意見の交流が出来るため、自らの見識を深めることに繋がっています。また、大学の授業で学んだことを楽しく実際に行動に起こせる場になっているのでいい経験を積みせてもらっています。



研修旅行 徳島にて

また、agrico.という援農ボランティアサークルにも所属しています。agrico.は繁忙期等に労働力としてお手伝いをしたり、農家さんのご厚意で農村部の観光をさせてもらったりしています。私は将来、田舎の地域活性化に取り組みたいと考えているため、その手段の一つと考えている農業の実態を知ることができる活動にとっても満足しています。また、農作業を通じて和歌山という土地の魅力を感じたり、農家さんと触れ合い様々な展望を聞かせていただくことができるため、多くの刺激を受けています。

自分たちの活動を世間に知っていただき、どのような評価を受けるのか確かめるべく、11月25日に日本大学で開かれたアグリカルチャーコンペティションにも参加させていただきました。様々な学部の視点から農業を捉え、活動を報告するというものだったため、聞いていてとても興味深かったです。残念ながら勝ち上がることはできませんでしたが、審査員特別賞を頂くことが出来ました。来年はさらに内容を深め、再度挑戦していきたいです。



インターンについて

夏期休業を利用して有限会社柑香園「観音山フルーツガーデン」に9日間のインターンに行きました。ここは6次産業化に取り組む法人の蜜柑農家さんで、農作業から加工、パッキングまで行いました。法人化ゆえの苦勞や経営指針や考え方をお聞きすることができました。この経験から農業を法人でやるはどういうことなのかということをお聞きすることができました。また、新しいことを始める、人がやらないことをやることの必要性、農業におけるマーケティングの必要性も学ぶことができました。



まとめ

入学して7か月、和歌山大学の学生として過ごしましたが、和歌山の農家さん方のやさしさに触れ、のびのびと目標に向かって活動を行っています。大学生になって高校時代よりも様々なことに挑戦する機会や時間があるため、指針を決め自分のやりたいことは怖気づかずやってみることで世界が広がっていくのを感じています。今も新たに和歌山の企業とのコラボ商品の開発に取り組もうとしているところです。これからもアンテナを広げ、更に経験を積んでいきたいです。